



SAMS Information

The University of Tokushima Graduate School, Institute of Health Biosciences,
Support Center for Advanced Medical Sciences (SAMS)

No. 36
2010/8/23

第58回HBS研究部 先端医研テクニカルセミナー

Luminexを用いた多項目同時解析

総合研究支援センター 先端医療研究支援部門（先端医研）では皆様の実験の研究にお役に立つようなテクニカルセミナーをシリーズで開いております。今回は、先日先端医療研究支援部門に設置されましたビーズを用いたマルチプレックスアッセイ測定装置Luminex（Milliplex, ミリポア社）で使用できるアプリケーションを紹介していただきます。興味のある方は、是非ご参加ください。

日 時	: 平成22年9月7日 (金) ^{訂正} → (火) 16:00~17:30
場 所	: 基礎第2講義室 (医学部基礎A棟とB棟の間 2階)
講 師	: 瀬川 剛二 株式会社ベリタス 営業本部 統括マネージャー

プログラム

16:00	はじめに	臨床栄養学分野	竹谷 豊
16:05 ~ 17:30	Luminexを用いた多項目同時解析		瀬川 剛二

概 要

近年、多くの臨床検体を用いて、網羅的な様々な解析が行われる様になってきており、これらの解析により得られた莫大なデータは、抗がん剤の効果予測や治療効果予測といったかたちで臨床現場に応用されつつある。

このような時代の中、ビーズを用いた多項目測定装置 Luminexは正にそうしたニーズに応える特性を有している。又、そのオープンプラットフォームな特性故に多くのメーカーが試薬を提供している。

今回ベリタスが提供するAffymetrix/Panomics社は、他社の多くが提供しているCytokine測定試薬の他にも独自のプローブ設計技術に基づく遺伝子解析用試薬QuantiGene Plexや転写因子測定試薬 Procarta TFなど、ユニークなアイデアでLuminexをより有効活用する試薬を提供している。

本セミナーではこうした数々のアッセイの原理などを紹介しながら、更にはその使用例を紹介する予定であり、特に遺伝子解析に関しては従来のマイクロアレイやqPCRでは困難であった、血液検体や病理組織検体を用いた、多項目・複数検体の解析例なども紹介する予定である。